

新商品開発と生産能力向上による 顧客満足度向上と新規顧客開拓

概要

フードプリンターを導入し顧客から要望が高まっている「フォトプリントケーキ」への進出と当店の強みである「手書き」と「フォトプリント」を合わせた「手書き仕上げフォトプリントケーキ」の新商品開発による付加価値の向上を目指した。

取り組みのきっかけ

看板商品は、当店のフードイラストレーターがケーキに手書きで似顔絵やイラストを描いた「手書きケーキ」であり、誕生日ケーキやクリスマス等のイベント時に多くの顧客に愛用されている。特に広告宣伝をすることもなかったが、口コミが広まり、今では売上高の30%（アニバーサリーケーキにイラストなしもあるが、大半は手書きイラストケーキ）を占める人気商品に成長してきている。一方で、顧客のニーズは多様化しており、ケーキに結婚式のスナップ写真や子供の誕生時の写真をプリントした「フォトプリントケーキ」が欲しいという顧客が増えてきた。このようなニーズは、結婚式の二次会の幹事や子供の誕生日に両親からプレゼントするなど、贈り物として購入される場合が多く、ケーキの装飾も、よりリアルで鮮明な「フォトプリントケーキへの要望が多くなってきたため、新商品導入に取り組んだ。

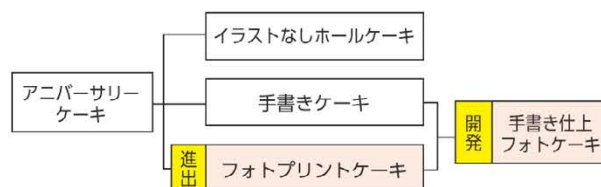


取り組みの目標

当社が従来から取組んできたフードイラストレーターの「手書きケーキ」に加え、商品ラインナップとして食品用プリンター（フードプリンター）導入により実物写真に忠実な「フォトプリントケーキ」や、「フォトプリントケーキ」をベースに、手書きイラストを書き添えた「手書き仕上げフォトケーキ」を新商品として開発することとした。

取り組みの内容

他店との競争力を高めていくために、「忠実な再現力」、「生産能力増強」、「フードプリンター導入によるキャラクターケーキへの参入」等への対応の実現化に向けて取り組んだ。



1. フードプリンターの導入

フードプリンターについては、生産能力、耐用年数、製造可能な品種（印刷可能なサイズ）を基準に機種を選定。特に、将来的に新商品として進出を目指す婚礼（引き出物）向けの焼き菓子の製造にも対応できるように、様々な品種の菓자에プリント出来ることと、対応可能なロット数が重要になるため、これらの必要条件を満たすことができる機種の選定を行った。



【導入したフードプリンター】

2. 手書きと写真プリントのシナジーを活かした新サービスの開発

ホールケーキに対し、写真プリントと手書き装飾を施した「手書き仕上げフォトケーキ」の試作を行った。写真プリントインクの材質や乾燥時間などを検証することで、手書き装飾がどの程度の範囲に施せるか、製造に必要な時間及び工数等を検証するなど、価格設定の参考とした。

3. 婚礼向け商品ラインナップの開発

現在製造している焼き菓子を利用しながら、婚礼の引き出物向け等に対応可能なプリントの種類・ロット

株式会社 アポロン

代表取締役 吉田 光良

所在地：三重県伊勢市小俣町明野1413-11

連絡先：TEL 0596-27-0101 FAX 0596-27-0101

E-mail：apollon@cream.plala.or.jp

企業概況

従業員数：2名

資本金：200万円

業 種：洋菓子製造販売業

特 色：「フォトプリントケーキ」にフードイラストレーターによる「手書き」を加えた「手書き仕上フォトケーキ」を取り揃える。

数等を検証した。印刷面積などを試作により検証し、必要があれば焼き菓子の形状を変更したり、製造工程の見直し等を行った。

取り組みの成果

1. アニバーサリーケーキの開発

手書きと写真プリントのシナジーを活かした新サービス開発では、ホールケーキに対し、写真プリントと手書き装飾を施した「手書き仕上げフォトケーキ」を開発した。

(1) 写真プリントテスト

＜製造・乾燥時間の検証＞

プリントの工数は、1～1,000個まで作成でき、瞬時にプリントインクも乾燥できたことから、課題であった生産効率および生産能力は格段に向上した。



(2) 手書きイラスト・装飾検討

クリームで花をつくったり、写真をプリントアウトしたケーキに手書きで、メッセージやイラストを書く、「コラボ商品」を考案した。



2. 婚礼向け商品ラインナップの開発

既存の焼き菓子へプリント可能なロット数や製造リードタイムが大幅に改善され、生産性向上を図ることができた。

旧 1ロット当たりのリードタイムの表

ロット数	タイム
手作業であるため、 大きさよりも内容によって異なる。	2,400 秒～ 11,400 秒

新 1ロット当たりのリードタイムの表

ロット数	タイム	ロット数	タイム
1個 (8cm × 13cm)	40 秒	1個 (10cm × 15cm)	43 秒
10個 (8cm × 13cm)	45 秒	10個 (10cm × 15cm)	48 秒
20個 (8cm × 13cm)	48 秒	20個 (10cm × 15cm)	52 秒
1個 (12cm × 17cm)	45 秒	1個 (14cm × 17cm)	48 秒
10個 (12cm × 17cm)	50 秒	10個 (14cm × 17cm)	52 秒
20個 (12cm × 17cm)	54 秒	20個 (14cm × 17cm)	58 秒

上記の検証により2,400秒以上かかっていたものが、58秒まで短縮することが出来、生産効率が格段に向上したことで、デザイン構成にその分時間をかけることができ、顧客ニーズに十分対応でき、喜ばれる商品づくりに取り組めるようになった。

開発製品・技術などのアピール

「フォトプリントケーキ」を品揃えすることで、顧客には「手書き」か「写真」か、という選択肢を提供できるようになり、その中でフードイラストレーターによる「手書きケーキ」という当社の「強み」を、よりアピールできるようになった。

今後の展望

日当たりの製造数が倍増したことで、一時期に集中する季節需要にも対応できるようになり、種々のアニバーサリー対応が十分可能となった。今後は新規顧客の更なる開拓と拡大に取り組んでいく。